

## 山形コロニー放課後等デイサービス シード天童【自己評価表】

山形コロニー放課後等デイサービス シードでは、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検をしています。指定基準を満たしたうえで、より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域のみなさまに安心してご利用いただく一助となるためのものです。  
 なお、評価基準は、厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに独自の基準を設けています。

○：おおむね良好といえる      ▲：より良くしていきたい      ×：改善が必要

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○	○	・曜日によって、活動する利用児数に対してスペースが狭いと感じることもあるかと思われます。活動内容の工夫やグループ活動で活動室を有効に利用しながら支援を行っています。
	② 職員の配置数は適切であるか	○	○	・当事業所は人員配置を超える職員を配置しております。また、専従の支援員全員が保育士の有資格者です。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○	○	・今年度、玄関の階段を一部修繕し、スロープを設置しております。すべての方がご利用できるよう、施設内の段差は、合理的配慮を持って安全な体制を整えています。
	④ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか	—	○	・毎日の活動が気持ちよい空間で過ごせるよう、活動前後は清掃を行い、日々の業務で安心して利用できる清潔な環境作りを行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	・計画に沿った支援ができるよう、支援開始前と終了後にスタッフミーティングを実施しています。PDCAサイクルの機能を生かし実践しています。
	⑥ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	・保護者向けアンケート結果の評価・ご意見を参考にしながら、より良いサービスに努めます。
	⑦ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	・保護者の方からのアンケート結果、自己評価表をホームページにて公開しています。今後も、ご意見をいただきながら継続していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	○	・今年度は、県の実施指導を受けました。第三者の指導等を活かし、適切な業務管理と法令遵守に努めています。 ・法人全体でより良い事業運営のために、内部監査を実施しています。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	○	・研修計画に基づきOJT、OFFJT等の必要な研修機会を確保しています。放課後等デイサービスは、発達を支援する上で、家庭、学校に次ぐ第三の場として重要な役割であることを受け止め、利用児一人ひとりの心理的発達や生活レベルを日常の活動で見極め、課題を整理し、支援にあたるよう、職員の資質、能力の向上に努めていきます。 ・今年度も、主催研修会を開催し、保護者や関係機関、地域の方が参加できる研修機会を提供しました。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題等捉えた放課後等デイサービス計画を作成しているか	—	○	・保護者や利用児との対話や、学校または関係機関の連携により、課題やニーズを丁寧に確認し計画を立てています。スモールステップで目標が一つ一つ達成できるよう意識したプランを大切にしています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	▲	・今の現状と必要な情報の把握は、丁寧にしています。利用開始時のアセスメントは標準化されたツールを使用しています。今後、当事業所の特色ある支援に合うアセスメントのツールを検討し、より効果的な支援の強化を目指していきます。
	⑫ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	—	○	・計画を共有し、目的を持った活動を企画し提供しています。職員間で確認して支援をしています。
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	—	○	・支援者ミーティングの中で、個別支援計画に基づき、意向に沿ったプログラムを提供できるように考えています。
	⑭ 活動プログラムは、個々の計画に応じた工夫がされているか	○	○	・個々の課題や発達段階に応じ、活動プログラムを日々工夫しながら設定しています。 ・将来を見据え、生活スキルを高める機会や、社会性やコミュニケーション能力を広げる経験を提供し、できたことを認め、確認していきます。
	⑮ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	—	○	・日々のミーティングの中で、活動内容や支援内容、課題等を考え検討しながら、サービスを提供しています。長期休暇期間には、普段できないような経験や活動の機会を提供したいと考え、計画を設定しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	・子どもの現状や課題を整理し、個別活動や集団活動を組み合わせ、目的をもって計画を作成しています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	・1日ごとの支援予定表を作成しています。支援者は、当日の役割分担、支援内容、時間設定を確認できます。誰が見ても動きがわかるように管理しています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	—	○	・支援終了後も、毎日、支援者で振り返りを行い、当日の活動状況の中での気づき、情報の共有、課題等の話し合いをしています。意見交換をすることで、より良い対応と支援者が同じ方向を見て支援することができます。
	⑲ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	・記録は、第三者が見た時にも様子が把握できるよう意識しながら記録しています。利用者一人ひとりの変化や状態を把握していくとともに、支援者自身の仕事への振り返り、支援スキルの向上にも繋がっています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	・6か月以内に一度を基本としつつ、必要に応じ適宜モニタリングを実施しています。支援計画の見直し、目標の再設定、意向を考慮しながら、適宜計画内容を変更しています。
㉑ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	—	○	・「できた」「わかった」という成功体験の蓄積と、自分らしく生きるために生活スキルの向上を目指します。社会の中で必要なルール学習を軸に、たくさんの体験の機会を提供できるように努めます。	

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。児童発達支援管理責任者に加え、必要に応じて直接処遇職員も参加することがあります。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	▲	・年間予定表や月間予定表、時間割表等は保護者経由でいただいております。また、急な変更や時間の変更などは、日常的に保護者の方と予定の確認を行うことで混乱はありません。学校との情報共有は、学校により、十分な連携・協力体制を築くのが困難なケースもあり、学校側の理解を高め、信頼関係の下で連携を図るための努力を続けていきます。 ・トラブル等があった際に、連絡先をしっかりと確保できるように、緊急連絡先の把握も行っています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	○	・医療的ケアを要する児童の受け入れ体制を持っていません。 ・医療的ケアを必要としない児童でも、必要に応じて主治医等との連携を図り、支援しています。
	㉓ 子どもが他の放課後等デイサービスを利用している場合、放課後等デイサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	▲	・相談事業所と連携しながら、他の事業所と支援の内容を確認し、情報交換を行っています。他の事業所との連携を自発的に図っておらず、連携が十分とは言えません。今後は、顔の見える関係作りにも努めていきたいと思っています。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・当事業所では、今年度より中学生、高校生の受け入れを行っていますが、まだ卒業を支援した児童はいません。しかし、当法人は、就労支援が主たる事業ですので、将来の就労を見据えた繋がりのある療育を行っています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	▲	・専門機関等の研修には積極的に参加しています。課題や問題意識をもち、必要な時は、専門医から助言をいただけるよう、連携していきたいと考えています。
	㉖ 地域の方々との交流や、地域の中で活動する機会があるか	○	○	・地域の方々との交流は、春の避難訓練や、秋の芋煮会で交流する機会を作っています。今年の芋煮会は、地域の方から事業所の中に入ってもらい、子供たちが芋煮を運ぶサービスをしました。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	—	▲	・天童市の自立支援協議会は、専門部会として相談支援部会が立ち上がっています。今後、地域の事業所が参加できる専門部会の必要性を検討し、体制を作りが進んでいくように働きかけていきたいと思っています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○	○	・「連絡帳」を活用していますが、できるだけ対面して、保護者の方に活動の様子をお知らせし、家庭や学校での取り組みや課題についての把握にも努めています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	▲	・保護者向けペアレントトレーニング等の研修会は実施しておりません。生活の中で、児童への関わり方のポイントやアドバイスを面談時においてお伝えしています。
保護者への説明責任等	㉚ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○	・利用契約の際に説明しています。運営規定、重要事項説明書等に変更がある場合、随時説明し、同意をいただいております。
	㉛ 保護者に対して面談や、子育て・将来のことに関する助言等の支援が行われているか	○	▲	・子供の発達のこと、学校での課題や将来のこと等、希望や不安の相談に応じ、必要な情報提供や助言を行っています。行き届かない面もあるかと思われませんが、保護者に寄り添う機会を今後も大切にしていきたいと思っています。
	㉜ 児童、保護者が一緒に活動できる機会の提供により、活動している利用児同士の交流の機会や、保護者同士の関係づくり等が提供されているか	▲：土曜日に予定が入ってしまう事が多く、活動に参加することがなかなかできていない。	▲	・行事活動等で、親子と一緒に活動する機会を設けています。保護者の交流機会、土曜開所でも実施していますが、参加率が低い傾向があります。今後は、皆さんが参加を希望されるような、交流機会を提供し、より良い関係作りができるよう努めていきます。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	▲：まだよくわからない。	○	・玄関に意見箱を設置しております。苦情受付担当者や苦情解決責任者を配置し、苦情解決委員会の体制を取り、迅速に対応できるようにしています。天童事業部として今年度から、第三者委員の直接受付の体制も整備し、2回実施しました。保護者には、シードだよりに掲載し、周知しています。
	㉞ 定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○	・3ヶ月に一回、シードだよりを発行しています。山形県ココロニー協会ホームページにも記事を更新し、シードの活動の様子をお知らせしています。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	○	○	・個人情報、保護規定に沿って安全に管理しています。管理体制を強化するために、職員の教育や意識を高める取り組みを行い、適切に管理していきます。
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	○	・情報伝達については、個々にあった伝え方を大切にしています。必要に応じて、言葉以外のツールも活用し、情報を伝えられるよう配慮しています。
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	—	○	・地域連携を重視し運営を行っています。具体的には、地域の方を事業所に招く機会（芋煮会、防災訓練）や、公民館活動、福祉活動に参加しています。

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	④⑩ 緊急時の対応や防犯、感染症などの対応についての手引きを策定し、保護者に周知・説明されているか	▲：災害の時に、どこへ避難するのかわからない。	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なマニュアルについては、法人で策定し、業務上徹底した管理に努めています。なお、事業所独自の緊急時の対応について、明確に提示するように努めます。</li> <li>保護者にマニュアルは配布していませんが、感染症の予防について、わかりやすく説明されたチラシ等を渡し説明しています。</li> </ul>
	④⑪ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	▲：まだ、経験していないので、わからない。	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>法廷訓練として、年2回の避難訓練を行っています。避難訓練は、地域の方にも参加していただき、災害時は避難のご協力をお願いしています。なお、今後も保護者の方に、わかるようお知らせして行きます。</li> <li>大きな災害があった場合は、近くの小学校や公民館が避難場所となります。職員の誘導で避難は行われます。</li> </ul>
	④⑫ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回は、職員研修の機会をもって、虐待防止の研修を開催しています。日常活動でも、虐待の有無について確認し、指導管理を徹底しています。</li> </ul>
	④⑬ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>強度行動障害児等、活動する中で安全管理を必要とするケースは、個別支援計画書に、具体的な対応を盛り込み説明し同意を得ています。やむを得ず対応を要する時には、利用児の安全確保を一番に考え、支援体制を整えています。また、この対応を要する機会がない支援のありかたについて、十分に検討しています。</li> <li>これまで拘束等を行うことがなかった点は良いことですが、職員一人ひとりが意識を高め、利用児の安全管理に努めていきたいと思えます。</li> </ul>
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>食物アレルギーの有無については、利用開始時に必ず確認しています。対象児は、必要に応じて医師の診断書を提出していただき、提供するおやつなどの成分表を十分に確認し、リスク管理を行っています。</li> </ul>
④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のスタッフミーティングにて「ヒヤリ・ハット」を確認しています。支援者間で、リスクを共有し、対応について具体的に検討し改善していきます。リスクによっては、どうしていくかを組織的に吸い上げ改善する仕組みができています。</li> </ul>	
満足度	④⑯ 子どもは通所を楽しみにしているか	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用児の発達段階や障害の程度・特性に合わせながら、将来を見据えて、いろいろな経験ができるように支援しています。利用児にとって、すべてが楽しい活動とはならないプログラムもあると思われませんが、活動の中で、「できた」という成功体験を積みながら、自信を育てていきたいと思っています。職員として、子供たちが心から参加したいと思えるよう、活動内容や環境作りをもっと充実させ、より良い支援に努めます。</li> </ul>
	④⑰ 事業所の支援に満足しているか	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の成長に必要な機会の提供や活動の工夫は重要と考えます。利用児を主体とし、ご家族と共にご意見や意向を伺いながら、共に悩み、考え、活動できる事業所となるよう努めていきます</li> </ul>

職員の配置状況（令和2年2月14日現在）

施設長：1名、児童発達支援管理責任者（施設長と兼任）：1名、保育士：4名、児童指導員：2名

職員の資格 等（令和2年2月14日現在）

保育士：4名、介護福祉士：2名、児童指導員2名  
強度行動障害支援者研修終了:3名 など